

【カブドットコム証券からのご案内】

空売り規制の見直しについて

営業推進部 藤井 明代

商号:カブドットコム証券株式会社
金融商品取引業登録番号:関東財務局長(金商)第61号
銀行代理業許可番号:関東財務局長(銀代)第8号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会

ご注意・ご案内

・当セミナー及び当資料は、資産運用の参考となる情報提供や、当社サービスや商品のご紹介/勧誘を目的としています。

・お取引の際は、約款・規定集 (<http://kabu.com/service/clauses.asp>)、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)、お取扱商品の重要事項の<http://kabu.com/company/policy/inducement.asp>)等を良くお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール (<http://kabu.com/service/rule.asp>)等を良くご理解の上、銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行ってください。

・証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。各商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料等が必要です。手数料には消費税が含まれます。

詳しくは当社の手数料ご案内ページ (<http://kabu.com/cost/>)等をご参照ください。

・投資信託のお申込を行う場合は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)を良くお読みいただき内容をご確認の上、ご自身のご判断で行ってください。

・信用取引・指数先物取引・海外指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。また、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。

お取引の際はリスクに関する説明等をご覧いただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

・信用取引における委託保証金率等は30%であり、差し入れた保証金の最大約3.3倍のお取引が可能です。詳細は、信用取引ルールのご案内ページ (<http://kabu.com/service/rule14.asp>)をご確認ください。

・ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちら

→ <http://kabu.com/info/escapeclause.asp>

・ご意見・苦情について(当社以外の窓口)

→ 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

電話：0120-64-5005

・掲載情報は2013年12月5日現在のものです。詳細および最新情報は当社ホームページ (<http://kabu.com/>)にてご確認ください。



空売りの基本

空売りとは

持っていない状態で株を売ること。
金融機関から株を借りて売却し、値下がり時に買い戻すと利益となる。

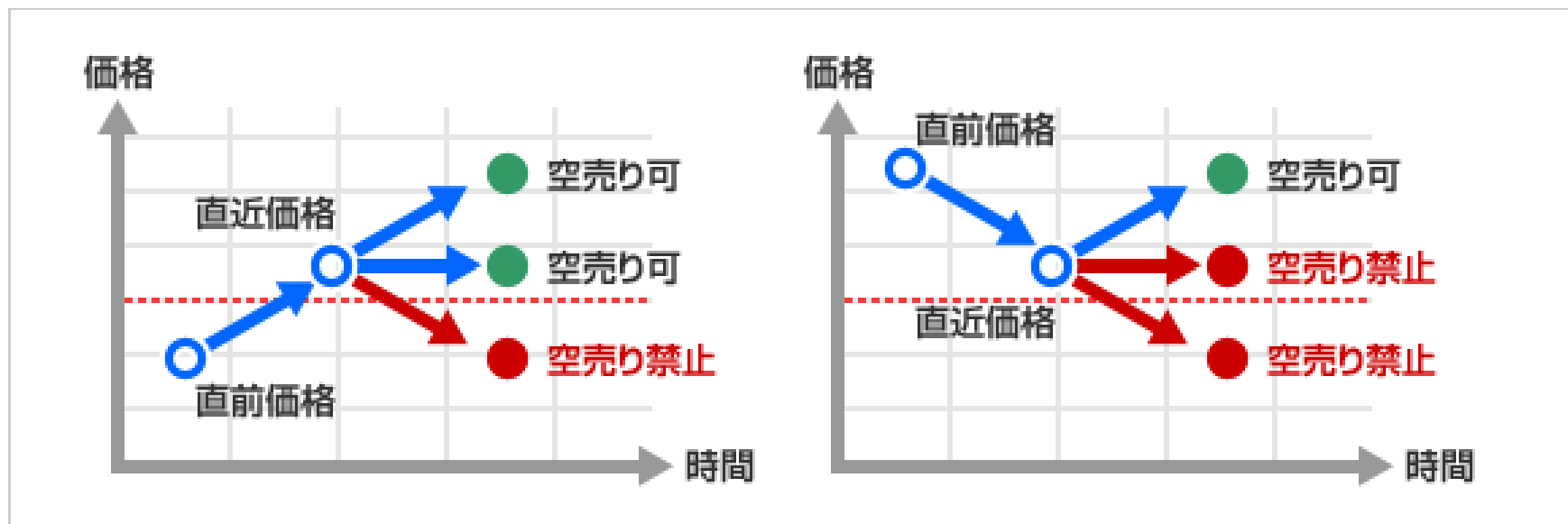
空売り規制とは

空売りによって株価を意図的に下落させて利益を得ようとする行為や、株価下落を加速させる行為を防ぐための規制や制限。

空売りの価格規制(規制緩和前)

50単元を超える売買について、以下の空売りが禁止されていました。

50単元 1株単位 = 50株
100株単位 = 5,000株



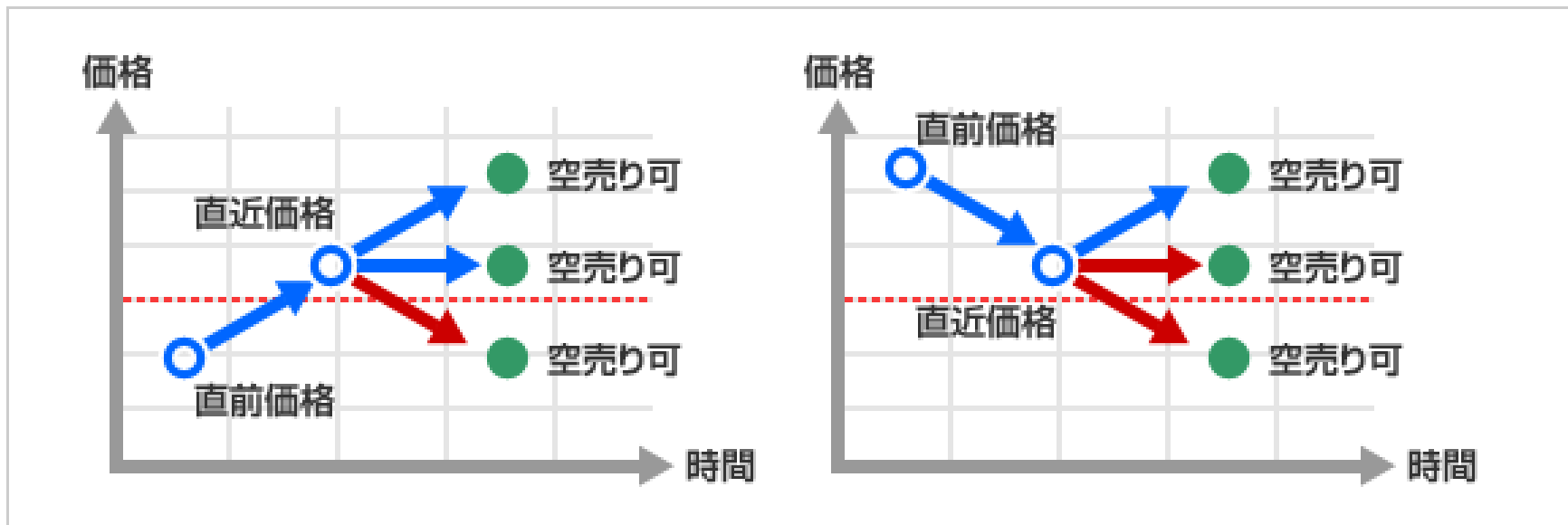
株価の上昇局面

直近価格未満での空売り禁止

株価の下落局面

直近価格以下での空売り禁止

信用空売り規制緩和後



直近の価格にかかわらず、50単元を超える空売り(指値)が可能に！

※成行注文については、取引所ルールにより見直し前と同様に注文することができません。

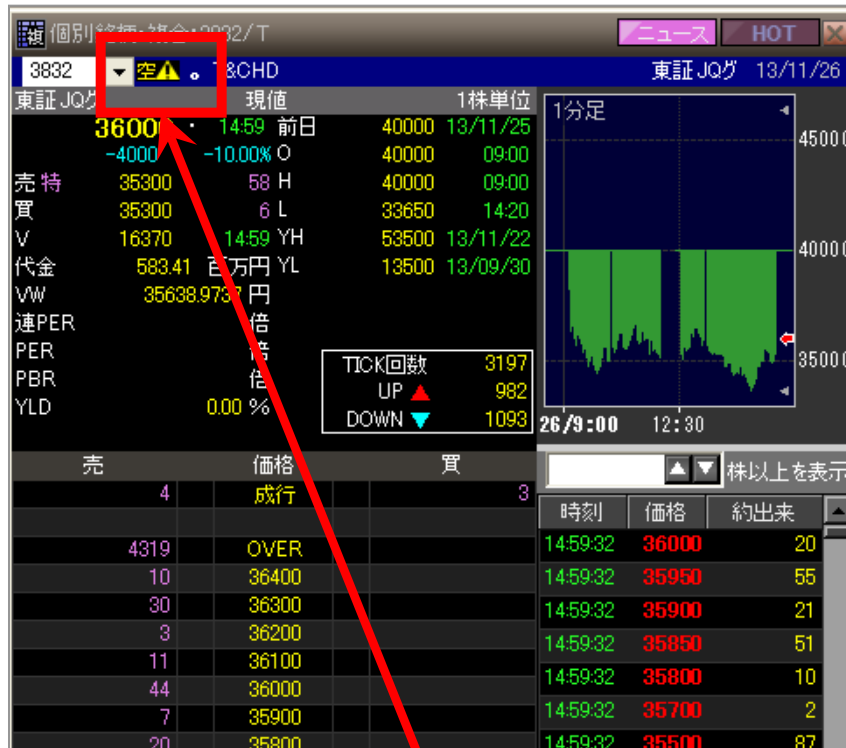


当日基準値段から10%以上下落した場合、トリガー抵触となり価格規制の対象となります。トリガー抵触後、以降から翌営業日の取引終了時点まで空売り規制ルールが適用となります。

信用規制対象銘柄の確認

信用の空売り規制対象銘柄(トリガー銘柄)はkabuステーションで確認出来ます。

kabuステーション 個別銘柄画面



kabuステーション 発注画面



信用空売り規制中の表示

空売りの価格規制改正メリット①

低位株のまとまった新規売りができる！

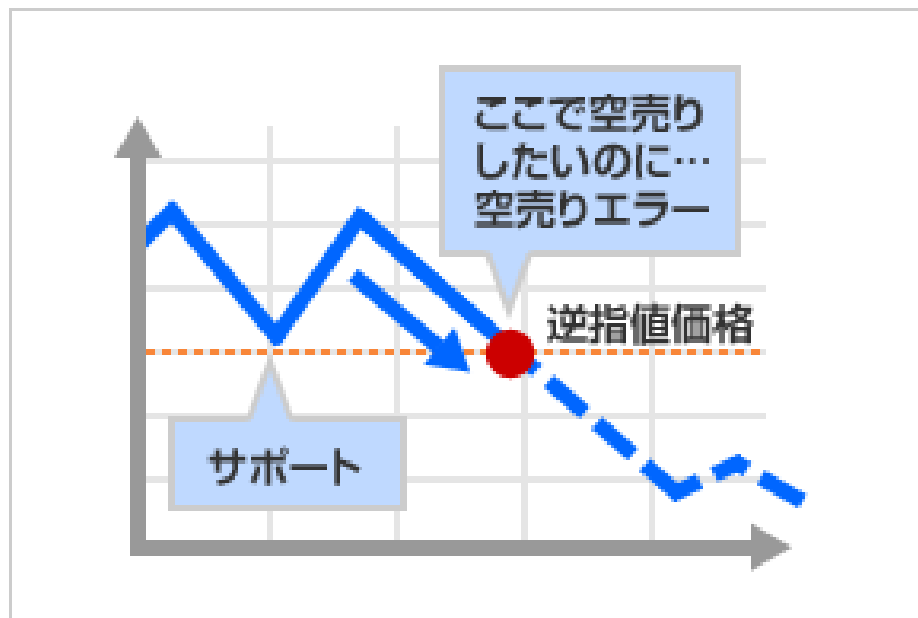
直近の価格にかかわらず、50単元を超える空売り(指値)が可能に！

	空売り規制	規制改正後
みずほフィナンシャルグループ (8411)	5,000株(約定代金108万円)超の 新規売建で規制対象	株数による制限なし
東京電力 (9501)	5,000株(約定代金271万円)超の 新規売建で規制対象	株数による制限なし
TOPIX連動型ETF (1570)	50株(約定代金53万2,500円)超の 新規売建で規制対象	株数による制限なし

※2013年11月27日終値を元に算出

空売りの価格規制改正メリット②

逆指値での空売りエラーが少なくなる！



空売り規制では直近公表価格以下の価格での発注(成行含む)が禁止されているので、下落局面ではほとんどが空売り規制の対象となり、逆指値を使用することが難しくなります。

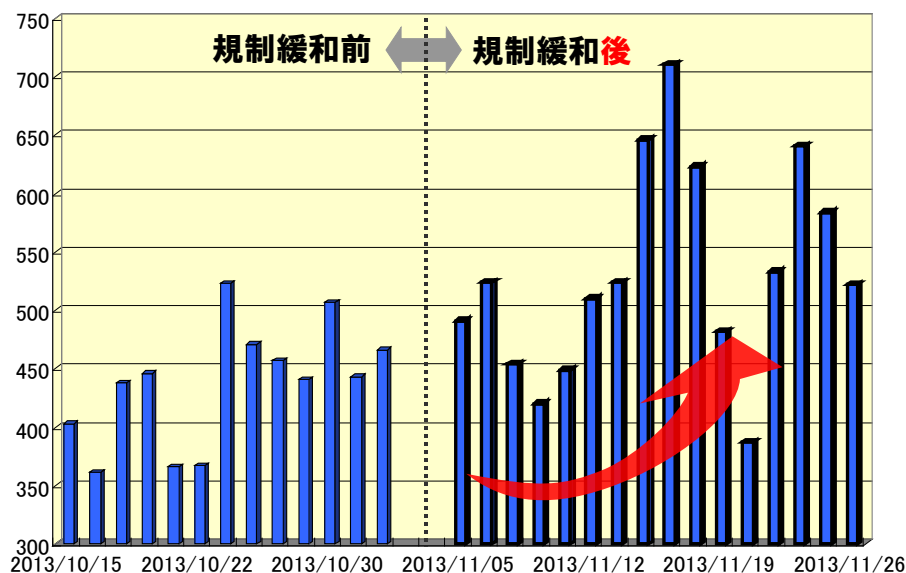
改正後は、このような規制もなくなり、逆指値などの自動売買を活用して下落トレンドの転換に乗り遅れることなく取引できます。

空売り価格規制緩和前後の注文推移

■約定代金500万円以上の信用空売り注文数

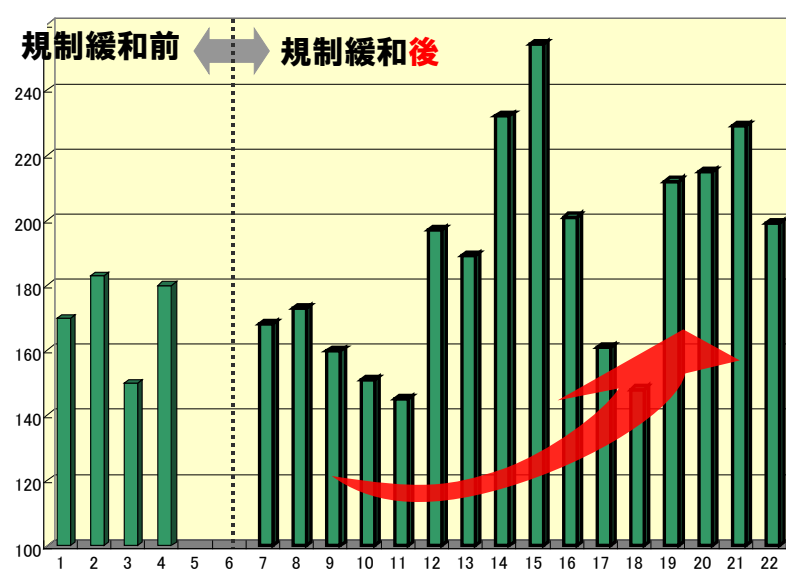
■約定代金500万円以上の信用空売り注文ユニーク人数

信用空売り注文数推移



※カブドットコム証券での約定代金500万円以上の信用空売り注文数推移
 ※2013年10月15日～11月26日データ(発注日ベース)

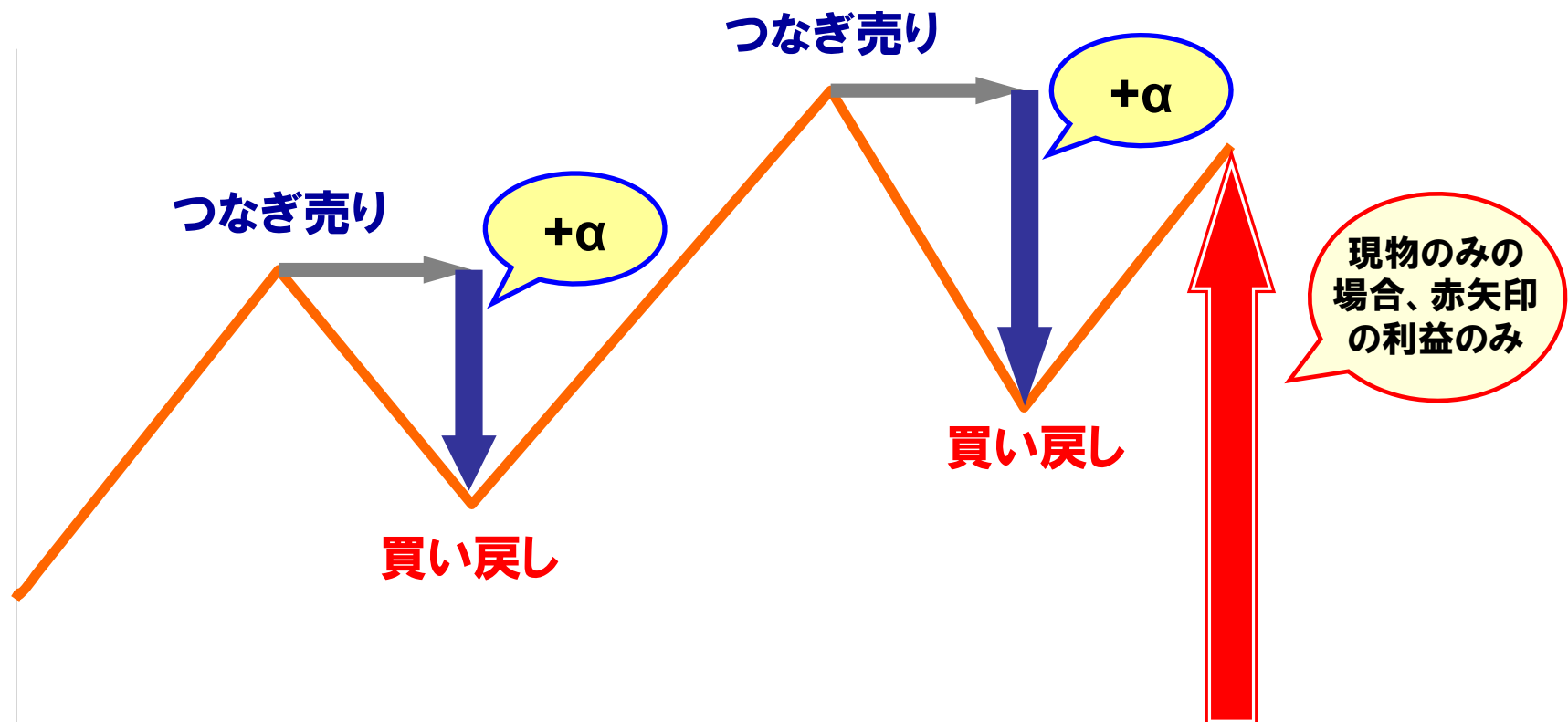
信用空売り注文ユニーク人数推移



※カブドットコム証券での約定代金500万円以上の信用空売り注文ユニーク人数
 ※2013年10月29日～11月26日データ(発注日ベース)

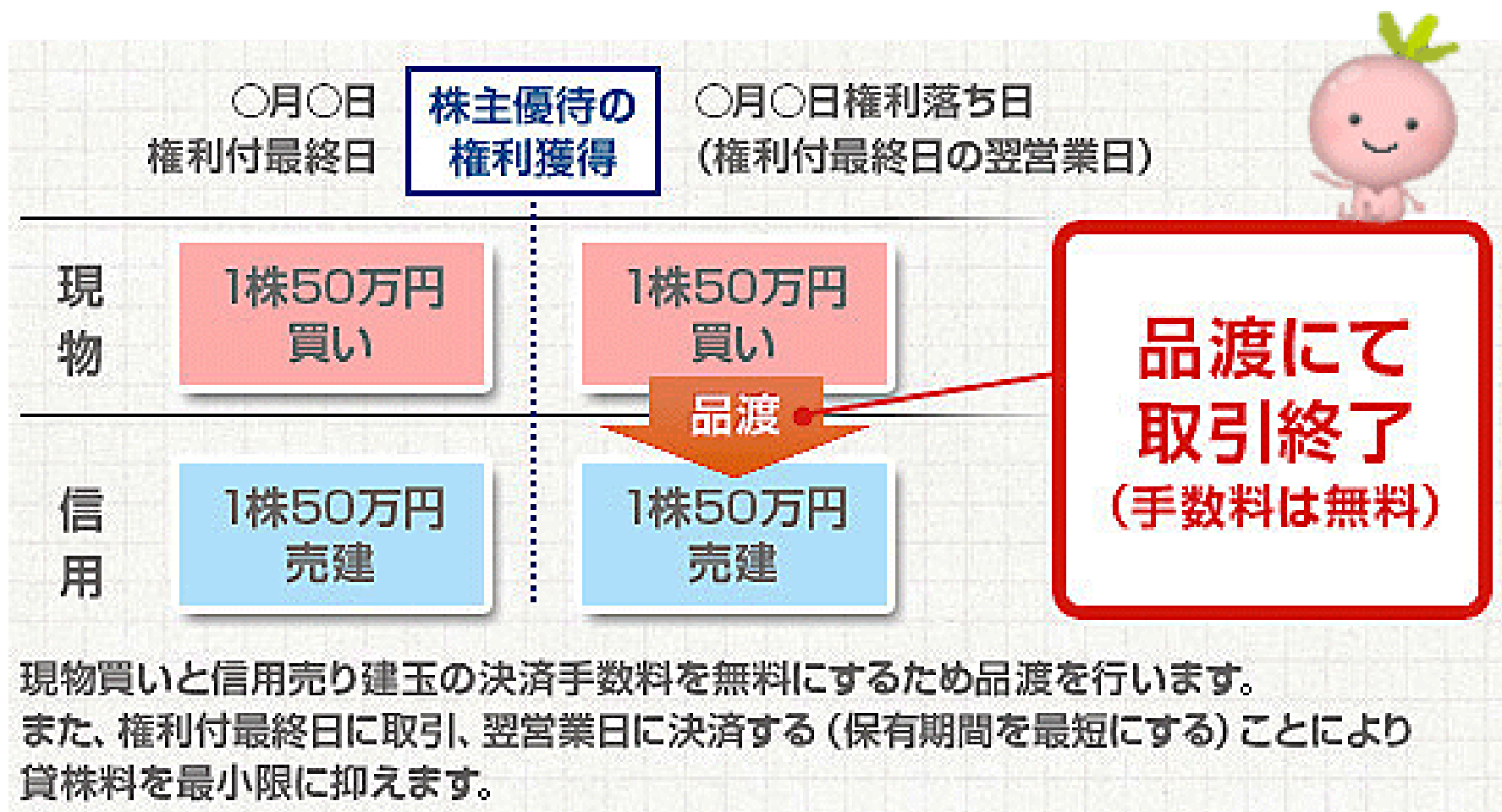
日経平均は11月18日に14,026円をつけてから大幅上昇しているにも関わらず、
 空売り規制緩和後は信用空売りの大口注文数、人数ともに緩やかに上昇している。

空売りの基本手法 「つなぎ売り」



現物株の中長期保有を考えているが、目先の下げ局面を予想した時、値下がりによる評価損を回避するため保有株を持ったまま、同じ銘柄を信用売りする「**つなぎ売り**」が有効です。

空売りの基本手法「つなぎ売り」(株主優待取得)



空売りの基本手法「つなぎ売り」(株主優待取得)

制度信用	一般信用
売建できる銘柄が限られている	非貸借銘柄でも売建できる銘柄が多数ある
逆日歩発生によるコスト負担増	逆日歩は発生しない



カブコムの一**般信用取引**なら

逆日歩なしで**約2300銘柄**※が**売建可能**！

(※2013年11月時点)

制度信用取引では売買できない非貸借銘柄を含めた
一般信用取引(長期・売短)
ネット証券最多の約2,300銘柄が売建可能！！

主要ネット証券
一般信用売建可能銘柄数
★★★ No.1 ★★★

ご注意・ご案内

■当セミナー資料は、資産運用の参考となる情報提供や、当社サービスや商品のご紹介/勧誘を目的としています。

■お取引の際は、約款・規定集(<http://kabu.com/service/clauses.asp>)、契約締結前交付書面、お取扱商品の重要事項の説明(<http://kabu.com/company/policy/inducement.asp>)等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール(<http://kabu.com/service/rule.asp>)等をよくご理解の上、銘柄選択、投資時期、投資スタイル等、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任で行ってください。

■証券投資は、価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は、必ず約定するものではありません。各商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料等が必要です。手数料には消費税が含まれます。詳しくは当社の手数料ご案内ページ(<http://kabu.com/cost/>)等をご参照ください。

■投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書(商品毎)および目論見書補完書面(投資信託)をよくお読みください。

■外国債券の価格や利回りは、市中金利や発行体の信用力などの状況により変動し、償還前に売却する際は、損失(元本欠損)が生じるおそれがあります。また、発行体の財政状態の悪化、経営破綻などにより、損失を被ることがあります。外貨建債券は、為替相場の変動等や、国や地域、政治・経済・社会情勢の変動などにより大きな影響を受けるおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。

■信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・海外指数先物取引・有価証券オプション取引・外国為替証拠金取引(FX)は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える大きな損失を被ることがあります。また、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。お取引に際しては、信用取引・指数先物取引・指数オプション取引・海外指数先物取引の契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

■信用取引における委託保証金率は30%であり、差し入れた保証金の最大約3.3倍のお取引が可能です。詳細は、信用取引ルールのご案内ページ(<http://kabu.com/service/rule14.asp>)をご確認ください。

■大証FX/店頭FX/くりっく365/シストレFXは元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、外国為替相場や各国通貨の金利の変動等によりお客さまに損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額は、お客さまが預託されている証拠金の額を上回る可能性があります。本取引において提示する売値と買値の間には差額があります。お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みください。手数料：大証FX 96.6円(片道約定1枚あたり/税込)、シストレFX・店頭FX 無料、くりっく365 98円(片道約定1枚あたり/税込)※手数料は5%の消費税を含んでいます。1円未満は切り捨てとなります。※執行条件、取引チャネルにかかわらず上記手数料が適用となります。証拠金(1万通貨あたり)：大証FX 大阪証券取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額。店頭FX コース、通貨ペアにより25,000円～1,000,000円。くりっく365 東京金融取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額。シストレFX 建玉価格の4%。

■掲載情報は2013年12月5日現在のものであります。詳細および最新情報は当社ホームページ(<http://kabu.com/>)にてご確認ください。

◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちら → <http://kabu.com/info/escapeclause.asp>

◆ご意見・苦情について(当社以外の窓口)特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター 電話：0120-64-5005

カブドットコム証券株式会社

金融商品取引業者登録：関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可：関東財務局長(銀代)第8号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会

当資料の情報は、カブドットコム証券のホームページ上の情報と同様、東京証券取引所、大阪証券取引所、ジャスダック証券取引所、株式会社QUICK、東洋経済新報社、日本経済新聞社、トムソン・ロイター社、モーニングスター社、クオンツ・リサーチ社、株式会社フィスコ、FXプライム株式会社、ジャパンエコノミックパルス社からの情報提供をもとに公開しております。当資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示したすべての内容は、現時点での判断を示しているに過ぎません。当資料を営業に利用することはもちろん、第三者へ提供する目的で情報を加工、再利用及び再配信することを固く禁じます。当資料の情報内容につきましては万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。当資料の利用に際してはお客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。